

一般

6月定例会では、19人の誌面の関係で5件の質問を要会議録でご覧ください。

今定例会の会議録は9月中役所本館1階)や各市立図書館ホームページ「会議録検本会議での一般質問の様子会議映像録画配信」で視聴で

Q.04 認知症対策 今後の市の考え方は

議員 平成29年7月に設置予定の認知症初期集中支援チームの概要と、認知症対策における社会福祉協議会との関わりについて伺います。

健康福祉部長 認知症初期集中支援チームは、なかなか支援につながらず行き詰まっている方に対し、医

療面からのアプローチを行い、認知症の初期段階の集中的な支援により生活環境の改善を図るもので、本市では新阿武山病院に委託予定です。

また、社会福祉協議会との関わりについては、社会福祉協議会で実施するサービスの提供等を通じ、市と

社会福祉協議会が連携し、きめ細かな対応を行っています。

議員 認知症対策について、今後の市の考え方を伺います。

市長 今後、認知症の方の増加が予想されるため、団塊の世代が全て75歳となる2025年を見据え、全ての高齢者を地域で支えるための地域包括ケアシステム構築の取り組みを更に前進させたいと考えています。

Q.05 教員の多忙化の解消 本市の取り組みは

議員 学校教育現場を取り巻く環境が複雑化、多様な課題となつています。多忙化解消に向けた取り組みを伺います。

また、教育指導体制の強化として、教員の更なるレベルアップが必要ですが、取り組みについて伺います。

教育指導部長 教職員が勤務時間終了後、速やかに全員退校する一斉退校日の設定や、中学校では週1日以上

の部活動休養日を設定するよう学校に通知するなど、多忙化解消に取り組んでいます。

教員の更なるレベルアップについては、専門的な知識

等の習得、子ども理解に基づく学級経営や学習指導を行う力の育成など、指導力向上に取り組んでいます。

議員 多忙化解消のためには、教員の事務作業や連絡調整業務を補助する人員配置を充実させ、学校事務体制の強化・充実や効率化を図ることも一案です。

また、校務の効率化を図るため、校務支援システムの整備に向けて早期の取り組みを要望します。



▲多忙化の解消が求められる教員 (イメージ)

その他の一般質問項目

- 図書館運営
- 「行政サービスコーナー」
- 「障害者差別解消法」
- 不登校支援
- 子どもを事故や犯罪から守る取り組み
- 高槻市・島本町広域行政推進
- 大阪府三島救命救急センター移転
- ホテル誘致事業者募集等と観光、中心市街地の活性化
- 行政サービスコーナーの今後のあり方
- 発達障がい支援センター構想
- 官製ワーキングプアと「サステイナブル・ジョブ」
- 高槻市における自転車通行空間の実態
- 国民健康保険の広域化
- 移動図書館の休止
- 道徳教科化
- 大阪府労働委員会の命令と国際交流
- 市営住宅
- 小中学校教職員が働きやすい環境整備を
- 高槻市のたばこ対策
- 行政財産等
- 三島救命救急センター等
- 市道・里道・水路等
- 子育て支援
- 環境